

# 第1回 県立高等学校改革懇談会 【二本松工業・安達東】

日時：令和元年 8月 6日（火） 15:30～17:00

場所：二本松工業高等学校 会議室

## 福島県教育委員会

# 本日の進め方

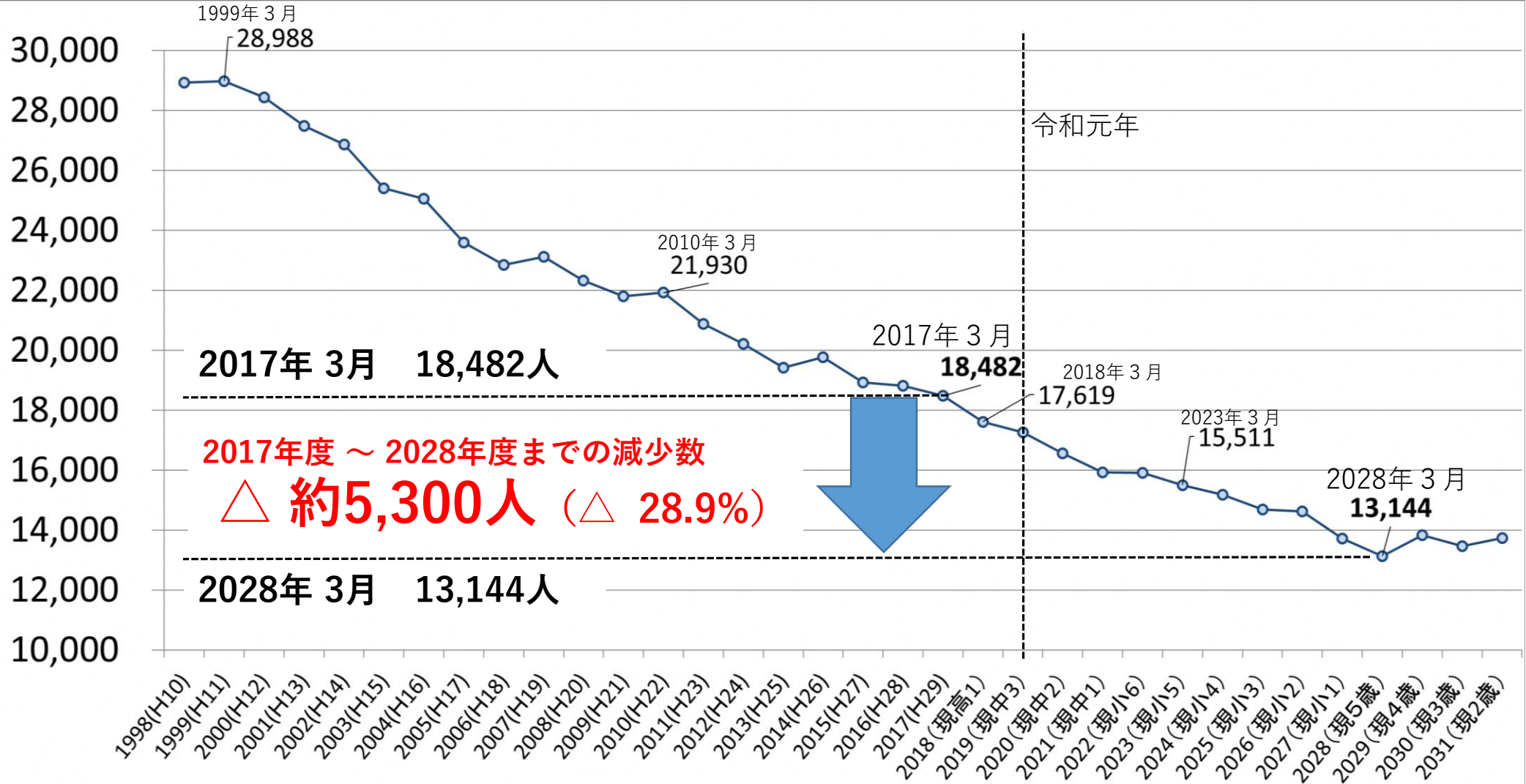
I	県立高等学校改革前期実施計画策定の経緯
II	二本松工業高校・安達東高校の現在の状況について
III	今後の再編整備について

**I**

# **県立高等学校改革前期実施計画策定の経緯**

# 1 少子化の進行（中学校卒業見込者数の減少）

中学校卒業（見込）者数の推移（人）

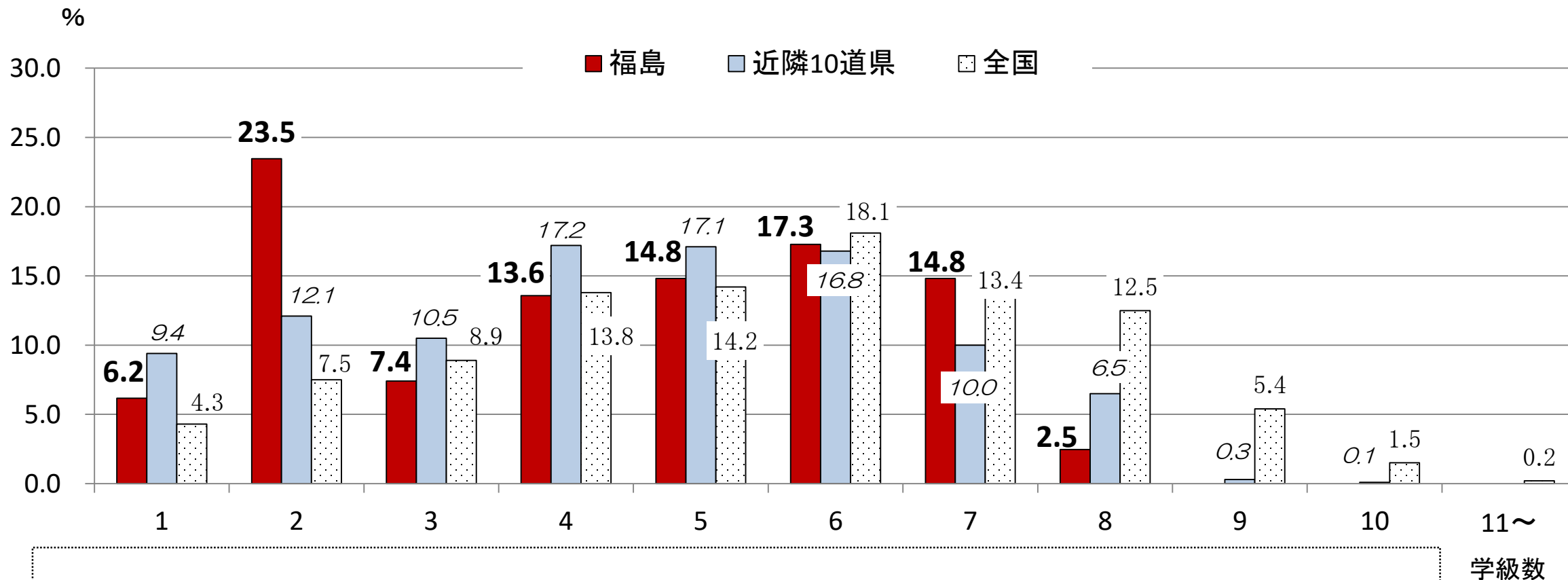


出典：2017年（平成29年）までは福島県企画調整部統計課編各年度の「学校基本統計（学校基本調査報告書）」から作成。  
 2018年（平成30年）3月～2026年3月までは同調査における各学年の在籍者数をもとに作成。  
 2027年3月以降は同課提供「福島県の推計人口」（2017年4月1日現在）の各年齢別のデータをもとに作成。

（年3月卒業）

## 2 県立高等学校の小規模校化

### 1学年当たりの学級数で見た学校規模の比較（福島県・近隣10道県・全国）



出典・「平成30年度全国公立高等学校第1学年定員等状況」(富山県教育委員会調べ)をもとに作成。  
分校を含む2018年度（平成30年度）都道府県立高等学校全日制課程の募集定員。近隣10道県は、北海道、本県を除く東北5県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県。

# 3 本県の高等学校教育を取り巻く様々な動き

## 本県をめぐる社会情勢の変化

- 人口の減少・**少子化のさらなる進行** (中学校卒業予定者が10年間で約5,300名減少)
- 過疎化・高齡化 (地域コミュニティの維持が課題)
- 高等学校教育を取り巻く状況の変化 (主権者教育の重要性、大学入学共通テストの導入)
- **高等学校の小規模化** (3学級規模以下の高校の増加)
- 生徒の学習ニーズの多様化 (学ぶ意欲や目的意識、興味、関心、進路指導の多様化)
- 東日本大震災と原子力災害からの復興・再生  
(本県の復興に携わりたいという思いの芽生え、福島イノベーション・コースト構想の推進)

高等学校改革の必要性

県立高等学校改革計画「第一次まとめ」(平成9年)・「第二次まとめ」(平成11年)

**福島県学校教育審議会 2017年(平成29年度) 答申**  
**「社会の変化に対応した今後の県立高等学校の在り方について」**



**県立高等学校改革基本計画の策定** 2018年 5月  
**(2019年度～2028年度) 10年間**

県立高等学校改革**前期**実施計画 (2019年度～2023年度) 5年間

県立高等学校改革**後期**実施計画 (2024年度～2028年度) 5年間

# 4 県立高等学校改革の基本方針

## 基本理念

「本県の未来を切り拓くチャレンジ精神を持った人づくりを推進すること」

### 【4つの基本方針】

**基本方針 1** 社会の変化に的確に対応できる生き抜く力を育む  
高等学校教育の推進

**基本方針 2** 多様な学習内容の確保及び教育の質の向上

**基本方針 3** 学校の再編整備・特色化による教育活動の魅力化

**基本方針 4** 過疎・中山間地域の学習機会の確保と教育環境の  
向上



## 再編整備・魅力化の基本的な考え方①

- **学ぶ意欲を引き出す望ましい学校規模（1学年4～6学級）**  
**1学年3学級以下の高等学校**については、**学校の魅力化を図りながら都市部も含めて統合を推進**
- **望ましい学校規模への再編整備の推進**  
同一市町内や隣接する市町にある複数の学校のいずれかもしくは双方の学校が**望ましい学校規模を維持できない場合に統合を推進**  
**望ましい学校規模の中で可能となる魅力化の推進**

## 再編整備・魅力化の基本的な考え方②

- 進路希望に応じた特色ある高等学校の配置
- 社会の変化に対応した学科の適切な配置
- きめ細かな指導が可能となる教育環境の整備
- 学校の特色化と情報発信

### 6つの学校群

進学指導拠点校

進学指導重点校

キャリア指導推進校

職業教育推進校

地域協働推進校

定時制・通信制高校

# 5 小規模校のメリット・デメリット

## 【メリット】

- 学校がある地域の生徒が、**少ない負担で通学**できる。
- 多様化する中で、**少人数を希望する生徒のニーズ**に合っている。

## 【デメリット】

- **一定の集団規模の中で**、生徒どうしが切磋琢磨しながら**社会性や向上心を育む**ことが難しい。
- 学級数減に伴う**教職員数の減少**により、多様な科目選択や部活動など**学校の教育活動が制限**される。

## 6 再編整備（統合）による効果

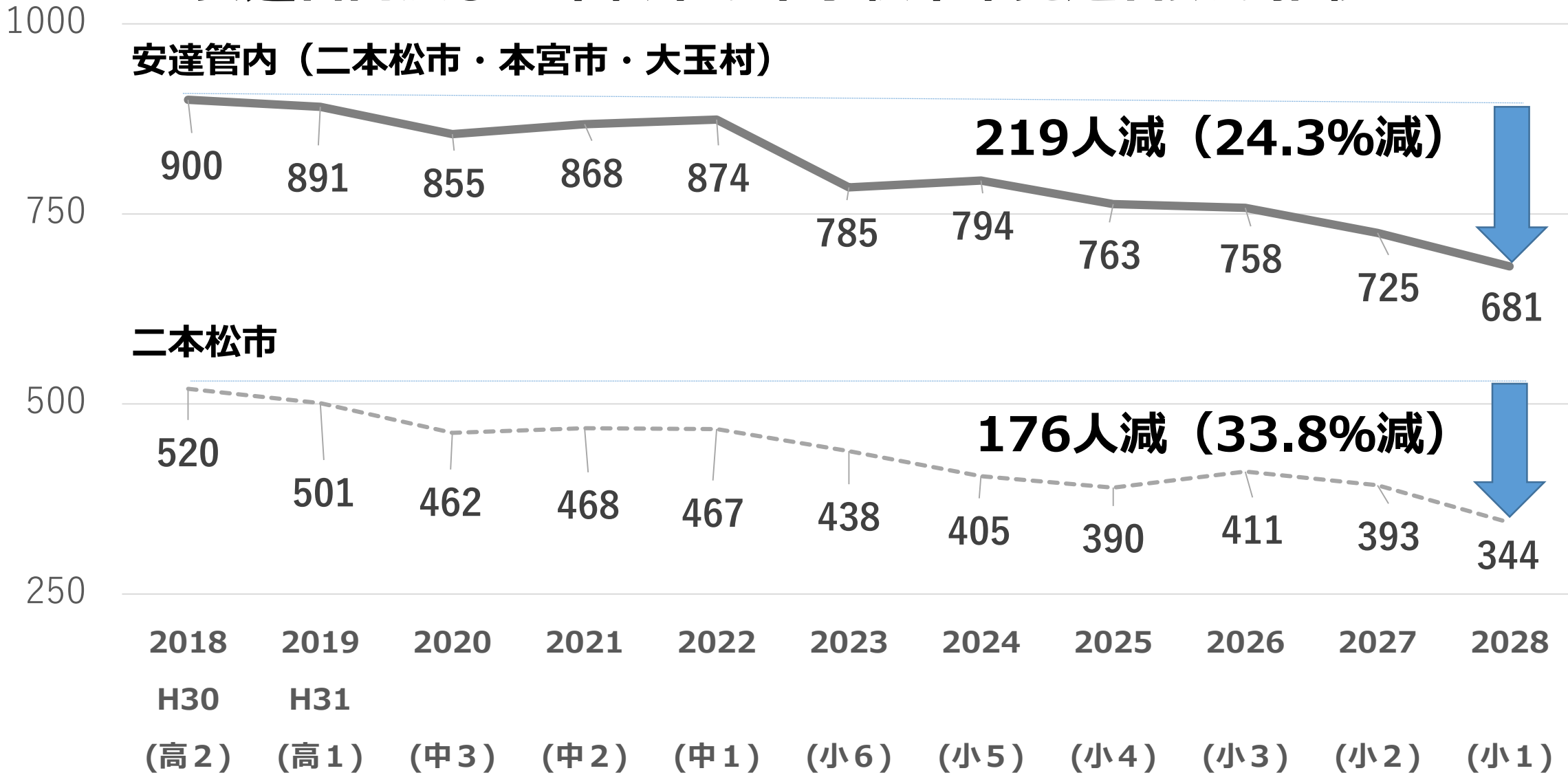
- 一定の集団規模を確保した望ましい学校規模の中で、生徒どうしが切磋琢磨しながら向上心を高め、人間性を育むとともに、探究的な学びや他学科との連携など、新たな取組みをとおしてより深い学びが実践できる。
- 望ましい学校規模とすることによって、教員数が確保され多様な選択科目や部活動からの選択が可能となる。

多様な選択肢を備えた教育内容  
多くの仲間や先生との出会い

## Ⅱ

# 二本松工業高校・安達東高校の現在の状況 について

# 7 安達管内及び二本松市の中学校卒業見込者数の推移



# 8 学校の沿革概要等

## 二本松工業高校

## 安達東高校

### ○ 沿革 (創立57周年)

- 昭和37年 福島県立二本松工業高等学校開校  
機械科、電気科を設置
- 昭和38年 電子科、土木科を新設
- 昭和44年 工業デザイン科を新設
- 平成16年 機械システム科、情報システム科、  
都市システム科に学科改編
- 平成24年 創立50周年記念式典を挙行

### ○ 設置学科 (令和元年度現在)

全日制	1学年3学級	計9学級
・機械システム科	1学級	
・情報システム科	1学級	
・都市システム科	1学級	

○ 面積	敷地総面積	52,885m <sup>2</sup>
運動場	19,132m <sup>2</sup>	校舎敷地 22,803m <sup>2</sup>

### ○ 沿革 (創立47周年)

- 昭和48年 安達高等学校岩代分校、大平分校、針道分校を安達高等学校より分離し、福島県立安達東高等学校とし、岩代校舎、大平校舎、針道校舎として設立
- 平成元年 産業技術科を設置 (農業科の学科名変更)
- 平成9年 総合学科を設置
- 平成14年 創立30周年記念式典を挙行

### ○ 設置学科 (令和元年度現在)

全日制	1学年2学級	計6学級
・総合学科	2学級	

○ 面積	敷地総面積	113,546m <sup>2</sup>
	校舎面積	10,145m <sup>2</sup>

# 9 進路状況（過去3年間）

学校要覧より

## 【二本松工業高校】

進路先	大学	短大	専門学校	就職	公務員	その他	合計
卒業年度							
28	9	1	15	100	5	0	130
29	19	2	19	94	4	0	138
30	9	0	22	107	5	0	143

## 【安達東高校】

進路先	大学	短大	専門学校	就職	公務員	その他	合計
卒業年度							
28	1	6	22	32	1	3	65
29	3	1	15	44	4	2	69
30	3	5	21	31	1	1	62



• 運動部

野球 バスケットボール

卓球 ソフトテニス

サッカー 陸上競技 柔道

剣道 弓道 カヌー

バドミントン

• 文化部

美術 ブラスバンド 文芸

科学 コンピュータ

• 運動部

バスケットボール 卓球

ソフトテニス 陸上競技

バドミントン

• 文化部

家庭 農業 美術 音楽

情報処理 手話

# 二本松工業高校

## 11 入学状況（過去10年間）

年度		22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	
機械	定員	80						40				
	入学者数	80	80	72	80	71	70	77	40	40	40	
	充足率	100%	100%	90%	100%	89%	88%	96%	100%	100%	100%	
情報	定員	80	40	80	40							
	入学者数	80	40	68	40	37	39	37	40	40	40	
	充足率	100%	100%	85%	100%	93%	98%	93%	100%	100%	100%	
都市	定員	40										
	入学者数	40	40	40	40	37	38	38	40	37	40	
	充足率	100%	100%	100%	100%	93%	95%	95%	100%	93%	100%	

# 11 入学状況（過去10年間）

年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1
募集定員	80									
入学者数	80	80	80	80	74	73	71	80	64	69
充足率	100%	100%	100%	100%	93%	91%	89%	100%	80%	86%

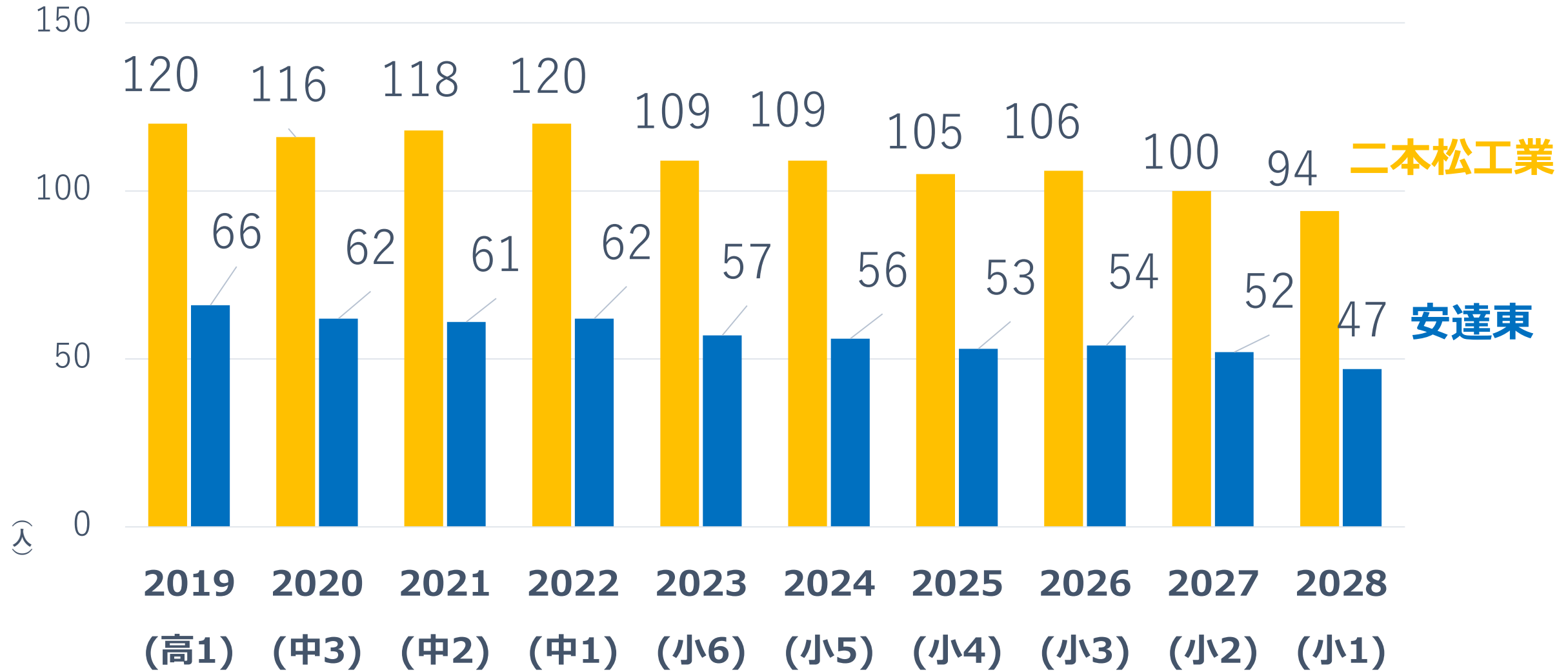
# 12 平成30年度 二本松市の中学校別高校進学者数

	卒業 者数	進学 者数	二本 松工 業	安達 東	安達	本宮	福島	橘	福島 商業	福島 明成	福島 工業	福島 西	福島 東	福島 南	その他	県内 公立・	私立 (県内)	県外 (公私)
二本松一	146	145	17	8	33	1	11	5	5	3	5	3	9	7	6	26	6	
二本松二	59	59	14	8	12	3	3	5	0	1	0	5	2	0	4	2	0	
二本松三	99	98	10	3	17	7	8	7	1	4	2	7	8	4	0	15	5	
安達	107	107	10	9	22	8	6	7	5	3	5	8	3	4	6	8	3	
小浜	26	25	2	6	3	5	0	1	1	1	0	0	0	1	1	4	0	
岩代	26	25	2	6	3	0	1	0	0	0	1	1	4	0	7	0	0	
東和	57	56	9	3	10	0	2	4	2	2	10	2	1	2	2	4	3	
計	520	515	64	43	100	24	31	29	14	14	23	26	27	18	26	59	17	
進学者に対する割合(%)			12.4	8.3	19.4	4.7	6.0	5.6	2.7	2.7	4.5	5.0	5.2	3.5	5.0	11.5	3.3	

約40%

約35%

# 13 二本松工業高校・安達東高校の入学者数予測



**Ⅲ**

# **今後の再編整備について**

# 14 再編整備の方向性

## 二本松工業高校

定員120名

- 機械システム科(1学級)
- 情報システム科(1学級)
- 都市システム科(1学級)

## 安達東高校

定員80名

- 総合学科(2学級)
- 教養・専門(家庭・福祉・農業)

## 福島明成高校

定員240名

- ・ 生物生産科
- ・ 生物工学科
- ・ 環境土木科
- ・ 食品科学科
- ・ 生産情報科

集約

2023年4月開校予定

## 二本松工業・安達東統合校(仮称)

定員：160名 工業科3学級・家庭科1学級

場所：二本松工業高校校舎

# 農業の学びを福島明成高校に集約する理由

**福島明成高校**

定員 240名

## 県北地区の農業科教育の拠点校

### ○ 5つの学科で構成

#### 生物生産科

草花・野菜・果樹  
食用作物・家畜

#### 生物工学科

大量増殖・品種改良  
無菌苗培養

#### 環境土木科

土木・環境保全  
水質保全・緑化

#### 食品科学科

食品の成分栄養  
食品加工・食品衛生

#### 生産情報科

食品の生産流通販売  
情報処理・情報発信

### ○ 総合選択科目を採用

【学科の枠を超えて選択できる多くの自由選択科目を設置】

### ○ 最新設備を備えた実験実習棟

一定の集団規模・ベースとなる施設設備  
農業における体系的かつ幅広い教育課程



学びの充実



# 15 二本松工業・安達東統合校(案)のイメージ

## 職業教育推進校

### 二本松・安達地域の工業科教育と家庭科教育の拠点校

地域との連携等による工業科教育の充実に加え、工業科と家庭科の連携による専門的な学びと職業観や勤労観を醸成する教育の充実により、地域産業を支える人材を育成

#### ○ 両校の学びの継承と充実

- ・ 二本松工業高校における専門性を身に付けさせるための丁寧な指導
- ・ 安達東高校における地域との連携による家庭・福祉の学び

#### ○ 工業科と家庭科における学科横断的な学び

#### ○ インターンシップの充実

# 16 検討する統合校の特色化の例

個に応じた進路指導の充実  
(就職・進学)

主体的・対話的で  
深い学びの実現

工業科と家庭科の  
クロストレーニング

専門的な技術・技能の指導

地域企業や専門学校等との  
連携による体験的な学び

職業観や勤労観を  
醸成する教育の充実

# 17 今後の予定

## 会議等のスケジュール

**第2回改革懇談会（年度内）**

**第3回以降の改革懇談会（以降必要に応じて開催）**

### 今後必要となる組織

**改革懇談会でいただいた御意見を具現化するための組織**

- **教育内容検討委員会（両校の教職員で構成される検討委員会）**
- **ワーキンググループ（各校の校内検討委員会）**